

◆ 作業負荷をチェックしましょう①

- 工程's は、日程のみならず要員の負荷調整ができる事も特徴として挙げられます。
例) メンバーのうち誰がどの期間、どれくらいのタスクを担当しているか など
- 今回は、山積みグラフを使って作業負荷の確認をする方法をご紹介します。(全 2 回の予定です)

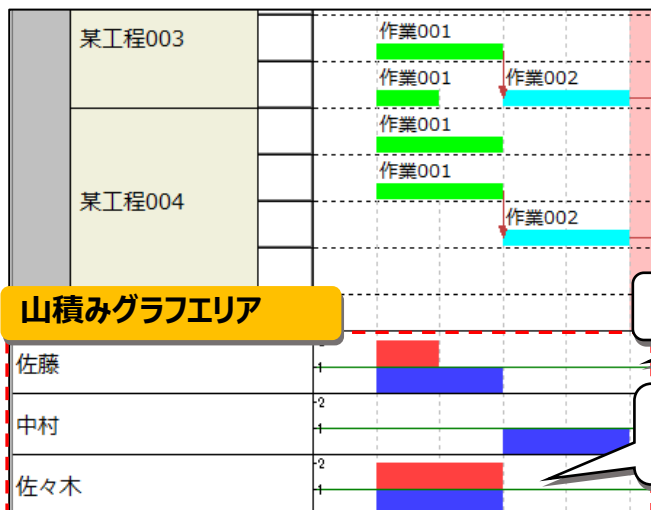
山積みグラフをしてみる

工程's では、各資源の作業負荷状況は山積みグラフで確認する事が出来ます。

※工程's メニュー「表示」>「山積みグラフ」にチェックマークを付けてください

山積みエリア使用方法の基本については、メルマガ Vol.13 も併せてご参照ください。

⇒http://kouteizu.webi.co.jp/support/pdf/ktz1point_vol13.pdf

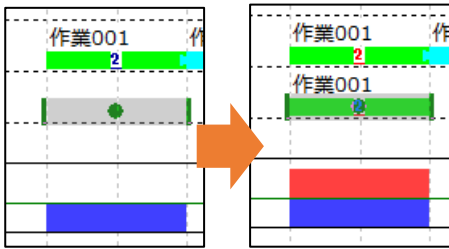


緑の線が供給量を表す

供給に対して要求が多い箇所 (= 過負荷) は赤くなって表示される

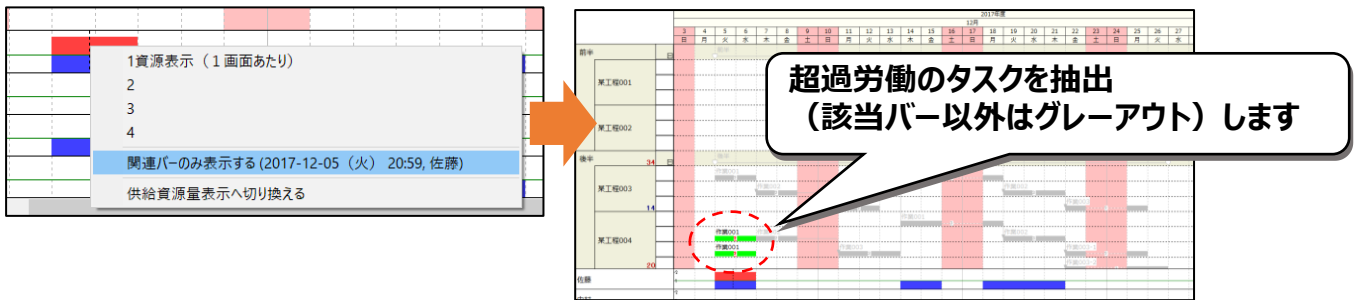
この場合、資源「佐藤」氏と「佐々木」氏に、それぞれ超過労働となっているタスクがある事が分かります。

要求資源量が供給量を上回ったとき（同じ資源を割り当てたタスク（バー）を同じ期間へ配置した場合など）、**超過労働となりグラフが赤く表示**されます。



◆ **Tips**

山積みグラフ上の赤い箇所を左クリックし、続いて右クリックメニュー「関連バーのみ表示」を選択する事で、該当する作業バーを抽出する事が出来ます。



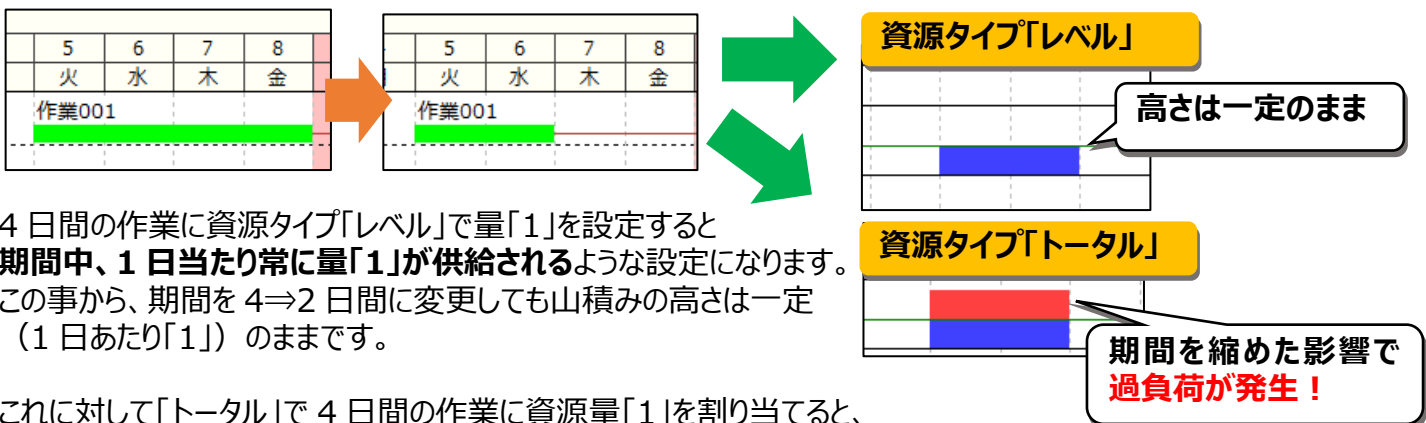
◆ 「作業期間と連動して変化する負荷状況」を見る

例えば **4 日間の作業を、内容はそのままに期間だけ 2 日に変更**する場合（= 倍の速度で終わらせる）⇒"作業負荷も倍かかるため、1 日あたりの必要資源が 2 倍になる"と言った状況が考えられます。このような場合は、**資源タイプ「トータル」**を利用すると便利です。

★ **資源タイプ「トータル」とは**

工程's の資源タイプは、「レベル」と「トータル」の 2 種類があります。デフォルトのレベル量設定に対し、資源タイプをトータル量に変更すると、作業バーに対する**要求資源のトータル量があらかじめ決められているため**、作業期間を変更すると、それに連動して **1 日当たりの要求資源の高さが変化**します。

例) **4 日間の作業を 2 日で終わらせるように計画を変更した場合**

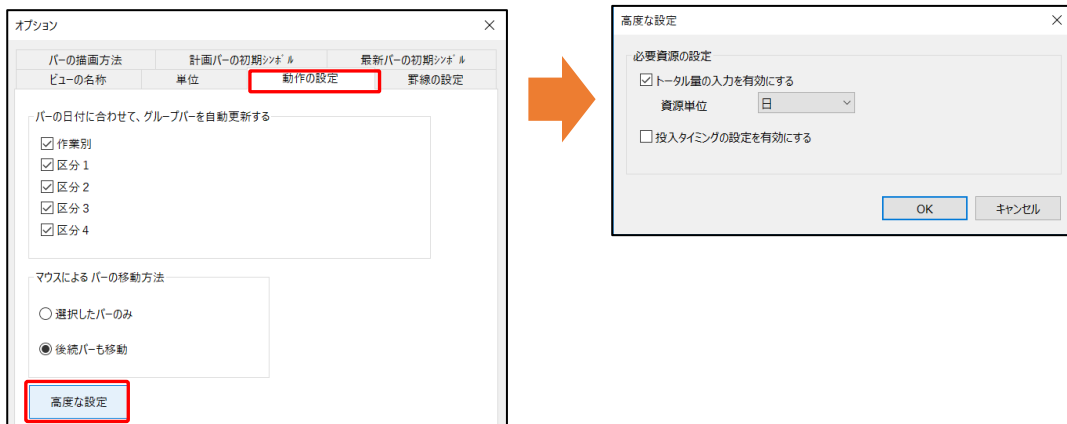


4 日間の作業に資源タイプ「レベル」で量「1」を設定すると**期間中、1 日当たり常に量「1」が供給される**ような設定になります。この事から、期間を 4⇒2 日間に変更しても山積みの高さは一定（1 日あたり「1」）のままです。

これに対して「トータル」で 4 日間の作業に資源量「1」を割り当てると、**1 人工×4 日間 = 4 人日**（= 4 日間トータルの要求資源量）という設定となります。よって、バー期間を 4⇒2 日間に変更すると、**2 日間に対して 4 人日が要求されている事**になるため、1 日当たりの資源量が倍になり、**過負荷が発生**してしまいます。

◆資源タイプ「トータル」を有効にするには

「トータル」資源の入力は、オプション「動作の設定」内「高度な設定」で、「トータル量の入力を有効にする」をチェックする事で使用可能になります。



上記設定後、作業バー「バー情報」にて資源タイプ「トータル」を選択可能となります。
また、資源の量は任意の値を手入力する事ができます。

必要資源			
No.	名称	タイプ	量
1	佐藤	レベル	1
		レベル	
		トータル	

資源タイプ「トータル」は、正しい要員計画を立てるためにとても役立つ機能です。
是非ご活用ください！

◆次回予告

今回は、全体マップと山積みマップを使った負荷状況の確認方法をご紹介します！